

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 588 号	氏名	浦田 淳吾
学位審査委員	主 査 蒔田 直昌 副 査 川上 純 副 査 江石 清行		
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 本研究は、陰性荷電低比重リポ蛋白(LDL)と高血圧患者における動脈硬化のリスクの相関を明らかにしようとするもので、目的は十分に妥当である。			
2 研究手法に関する評価 98 人の本態性高血圧患者を対象として陰性荷電 LDL 分画を計測し、種々の動脈硬化の危険因子や酸化ストレスのマーカーと相関を統計学的に解析したもので、研究手法も妥当である。			
3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、本態性高血圧患者において、陰性荷電 LDL 分画は動脈硬化の危険因子と正の相関を示すことを解明した。また、コントロールが不十分な危険因子が多いほど陰性分画が高いことも明らかになり、動脈硬化領域における今後の生化学的研究や臨床応用への進展が大いに期待される。			
以上のように本論文は循環器病学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			